

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

芸濃総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
芸濃・地域振興課	地域インフラ維持事業（芸濃総合支所）	住民生活に密着した地域要望等に即答・即応するために、地域住民との協働を果たすことが出来るように事業を推進する。道路、河川、公園及び交通安全施策等、地域インフラの維持修繕に関し、総合支所長の権限でフレキシブルに即時対応を図る。	要望対応率	市が所有し管理している道路、交通安全施設等、河川、公園の維持・補修に係る市民、地域からの要望に応えた対応の実施率を指標とする。	80%	90%	地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	さまざまな要望に対し、市民や地域に小規模のものは即対応でき実施率も目標値を上回った。	4	地域要望に対して、総合支所ですら実施できるものは地域の実情に応じ早期に対応できた。	拡充・充実	地域インフラ維持・修繕について総合支所長の判断により、即対応でき、市民の要求に素早く応えることができた。
芸濃・地域振興課	地域インフラ補修事業（芸濃総合支所）	地域インフラ維持事業と共に、身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、独自の予算措置により地域へ原材料の支給等、公共施設等の簡易な補修、修繕を行い、地域に密着した対応を図る。	要望対応率	道路、交通安全施設等、河川、公園の補修に係る原材料の地域への支給及び職員が原材料を使って対応できる軽易な修繕・補修で、市民、地域からの要望に応えた対応の実施率を指標とする。	80%	90%	地域住民からの要望に対する迅速かつ柔軟な対応を推進する。	地域の要望に対し、十分に應えることができた。	4	技能員対応による補修作業を実施するなど、地域住民からの要望を迅速かつ柔軟に対応することができた。	拡充・充実	地域インフラの補修について総合支所長の判断により、即対応でき、市民の要求に素早く応えることができた。
芸濃・地域振興課	地域かがやきプログラム事業（芸濃総合支所）	【北部エリアの事業目的】 都市と地域の住民が共に自然とふれあい、憩い、学び、楽しむ機会を増大させることによって、都市や自然と共存する、健康で活力あるふれあいの里づくりをめざします。 【芸濃総合支所の事業目的】 市民との協働のもと、地域資源を活用したイベント等を通して、地域の活性化と地域交流を進めるとともに、市民の健康づくりに寄与することを目的とします。	事業数	北部エリアの活性化を図るため、地域かがやきプログラムの事業数を指標とします。	5事業	5事業		当該事業において、地域の活性化を図るために5つの事業を実施しました。	4	事業計画どおり実施され、おおむね目的を達成することができました。	拡充・充実	現事業の遂行と並行して、現総合計画の計画期間の終了を前に、各事業の内容を改めて再検証し、今後の方向性について、総合支所としての考えを整理する。
芸濃・地域振興課	地域情報発信事業（芸濃総合支所）	地域の話題や情報を共有するとともに、地域の魅力を広く発信する。	地域だよりの発行回数	地域の情報を住民に知らせることを目的に発行している地域だより「げいのうかわら版」の発行回数を指標とします。	6回	6回		地域情報誌として2カ月に1回、定期的に発行し目標を達成することができた。	4	定期発行の確実な実施と地域ならではの情報発信や市民が参画できる行事予定の周知ができた。紙面スタイルが固まりつつある中で、より一層読み手の立場に立った改善に努めたい。	拡充・充実	「読んでもらえるかわら版」を目指し、トップページで住民の関心の高い記事や子どもたちの活動記事などを取り上げ、手に取ってもらいやすくしたり、活字のフォントを読みやすく工夫したが、今後は内容面の充実を目標に、地域のイベントや住民の活動に対するアンテナを高く掲げ、より幅広く、総合的な情報の提供に努めたい。
芸濃・地域振興課	総務管理事業	棕本財産区の財産の適正な管理及び地域住民の福祉の向上に努める。	財産の適正な管理	財産区の所有する山林及び基金の適正な管理			山林及び基金の適正な管理	助成金（繰出金）30万円と前年度同額にしました。	3	今後も財産区の森林の適正な維持管理に努めていく。	現状維持	管理委員会と協議のうえ、基金の適正な管理を行っていきます。